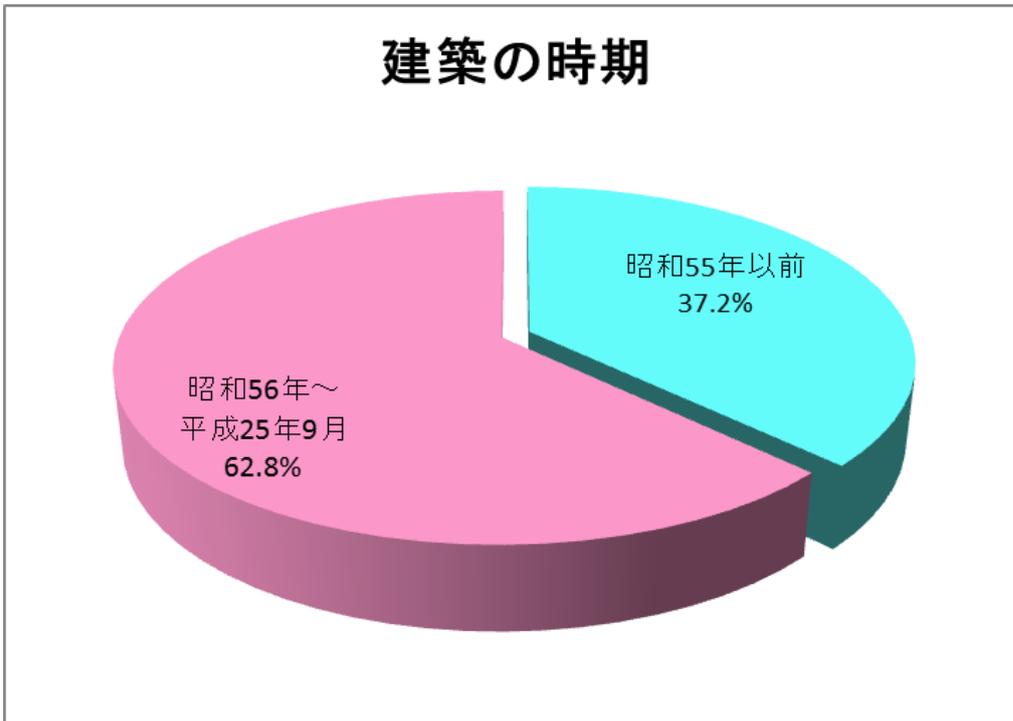


5 耐震

耐震基準の見直しが行われた昭和56年以降に建築された住宅が、全体の62.8%を占めています。

(戸)

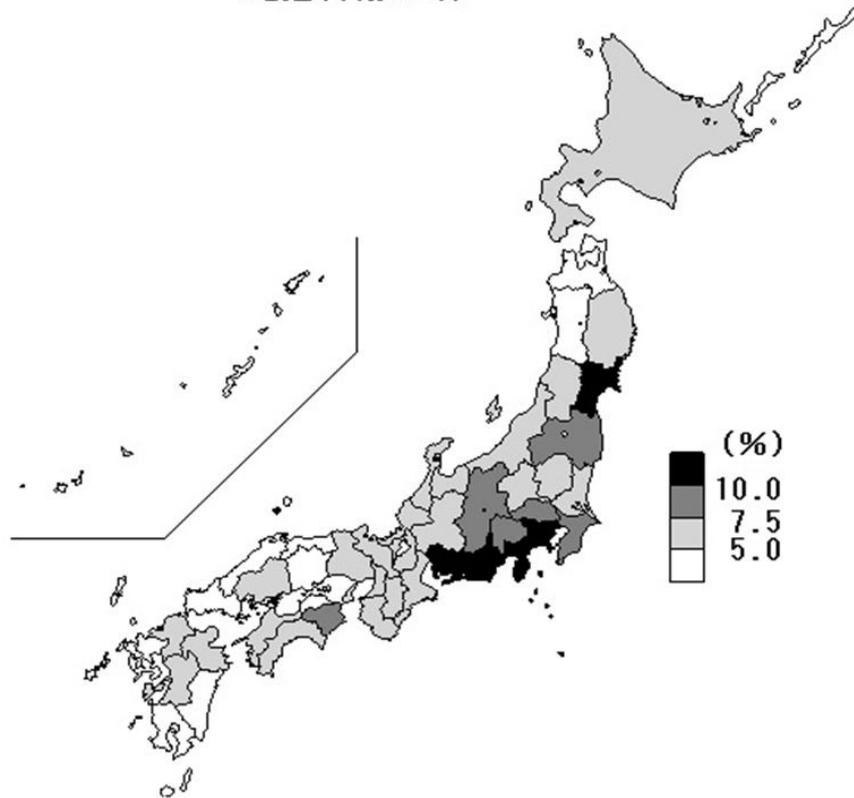
昭和55年以前	昭和56年～平成25年9月
202,200	340,800



※割合については、不詳を除く。

耐震診断をしたことがある住宅（持ち家）は19,700戸（全国271万戸）で、割合で見ると県内の持ち家総数の5.1%（全国8.4%）となっています。

耐震診断をしたことがある住宅（持ち家）
の割合(平成 25 年)



耐震診断をしたことがある住宅（持ち家）-全国、都道府県(平成 25 年)

						(万戸)		
	実数	割合		実数	割合		実数	割合
全国	271	8.4%	富山県	2	5.6%	島根県	1	3.4%
北海道	8	5.6%	石川県	2	5.2%	岡山県	2	4.7%
青森県	1	3.3%	福井県	1	6.3%	広島県	5	6.4%
岩手県	2	6.3%	山梨県	2	7.5%	山口県	2	4.1%
宮城県	9	16.2%	長野県	5	8.5%	徳島県	2	7.9%
秋田県	1	3.1%	岐阜県	4	6.5%	香川県	1	4.9%
山形県	2	5.2%	静岡県	11	11.9%	愛媛県	2	5.1%
福島県	4	7.7%	愛知県	18	10.1%	高知県	1	7.0%
茨城県	6	7.4%	三重県	4	7.4%	福岡県	8	7.2%
栃木県	4	6.9%	滋賀県	3	7.1%	佐賀県	1	4.2%
群馬県	3	5.5%	京都府	4	6.1%	長崎県	1	4.0%
埼玉県	17	9.1%	大阪府	15	7.3%	熊本県	2	5.5%
千葉県	17	9.9%	兵庫県	10	6.9%	大分県	2	5.4%
東京都	53	17.8%	奈良県	2	6.3%	宮崎県	1	4.3%
神奈川県	24	10.8%	和歌山県	2	5.9%	鹿児島県	2	4.2%
新潟県	3	5.1%	鳥取県	1	3.8%	沖縄県	1	3.6%

また、持ち家のうち、平成21年以降に住宅の耐震改修工事を行った住宅は6,600戸で、持ち家総数中1.7%との結果になりました。

耐震診断の有無	総数	壁の新設・補強	筋かいの設置	基礎の補強	金具による補強	その他
耐震改修工事を行った住宅	6,600	2,900	2,100	2,700	3,000	1,200
耐震診断をした	2,700	1,500	1,300	1,600	1,300	400
診断の結果、耐震性が確保されていた	2,100	1,100	900	1,400	1,000	300
診断の結果、耐震性が確保されていなかった	600	400	400	300	300	100
耐震診断をしていない	3,900	1,300	700	1,100	1,700	800

※複数回答であるため、内訳の合計とは必ずしも一致しない。

